

学校だより



平成30年6月29日(金)
千葉県立香取特別支援学校
6月号

開かれた学校づくり委員会開催

6月12日(火)に「開かれた学校づくり委員会」を開催しました。本委員会は、「地域に開かれた魅力ある学校づくり」を推進するために、県立学校に設置しています。設置の趣旨は次の3点です。



- (1) 社会の変化や多様化する教育に対応するため、学校・家庭・地域が協働して、特色ある学校づくりを推進する。
- (2) 学校が保護者や地域住民の信頼にこたえていくために、保護者や地域住民の意見やニーズを学校運営に反映させる。
- (3) 学校の自己評価をもとに学校関係者評価を実施する。以上です。

本年度の本校の委員の方々をご紹介します。

○神崎町教育委員会教育長	(本委員会委員長)	椿	勇	様
○神崎町立米沢小学校校長	(本委員会副委員長)	小林	正樹	様
○香取市健康福祉部社会福祉課課長		坂本	浩一	様
○香取学園龍ヶ谷寮児童発達管理責任者		作佐部	朋子	様
○本校PTA会長	(本委員会監査委員)	根本	久美子	様

学校からは、校長が委員として参加し、事務局として、教頭、事務長、主幹教諭・教務主任、学部主事3名、特別支援教育コーディネーター、進路指導主事が出席しています。

今年度第一回目としての今回は、本年度の教育方針や重点目標、学校概要、センター的機能、進路の状況等を説明し、授業も参観していただきました。

更に、「1000ヶ所ミニ集会」の内容についても協議しました。昨年度取り上げた進路関係を今年も継続することとして、学校から提案させていただき、「就労・生活支援セミナー(仮)のテーマで進めていくこととなりました。8月30日(木)に行う予定です。

委員の方々には、今後も学校運営についての御意見をいただくとともに、3学期には「学校評価アンケート」について学校の自己評価をもとに「学校関係者評価」を行っていただく予定です。これからも、本校が「地域に開かれた魅力ある学校」となるよう、周囲の方々の御意見に耳を傾けていきたいと思っております。

引き続き保護者の皆様の御意見と温かい御支援・御協力をいただきますようお願いいたします。

主な工事

今年度の主な工事を3件紹介します。次の1、2の工事は主に夏季休業中に、3の工事は主に冬季休業中に行います。

- 1 作業棟前広場の地盤沈下改修工事
- 2 電話設備改修工事
- 3 作業実習室空調設備設置工事 以上を行います。

御不便をおかけしますが御理解と御協力をお願いいたします。

創立40周年

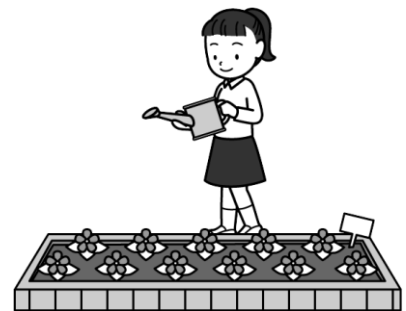
昨年度の「学校だより4・5月号」でお知らせし、今年度4月のPTA総会でも再度お知らせしましたとおり、本校は、今年度創立40周年になります。

PTA会長さんを実行委員長として昨年度に実行委員会を組織し、PTA役員の方々と教職員とで一緒に進めているところです。

- (1) 記念誌発行
- (2) 記念品
- (3) 行事の3点を行うものとして内容を検討してきました。

行事については、2日続きの案を考えています。1日目にニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートで、保護者の希望者も参加できるように考えています。2日目が餅つき大会です。神崎下座連の方々も開会に参加して、お囃子を披露してくれる予定です。40周年記念関係につきましても御協力をよろしくお願いいたします。

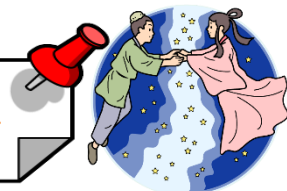
(校長 岩瀬 広幸)





7月の予定 <文月><JULY>

ふみつき じゅらい



1	日	
2	月	学校見学会① ALT 高2 高1 高等部 香取学園面談
3	火	ALT④小・高3
4	水	高1 宿泊学習 1日目・手賀の丘少年自然の家 高2 宿泊学習 1日目・千葉方面 小学部 NEXCO 東日本体験イベント PTA 心肺蘇生法研修会&PTA 厚生部会
5	木	高1 宿泊学習 2日目・手賀の丘少年自然の家 高2 宿泊学習 2日目・千葉方面 中学部 体重測定
6	金	中2 歯科指導
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	県P連・自立と社会参加；千葉市民会館 中学部 佐原第五中居住地校交流
11	水	小学部 授業参観個別面談
12	木	小学部 授業参観個別面談 中学部 保護者会 高等部 サマーバザール 香養会 同窓会役員会

13	金	自立活動ケースカンファレンス① 心理士；太田先生
14	土	
15	日	
16	月	海の日
17	火	防犯教室
18	水	PTA 広報部会
19	木	給食終了 小・中 香取学園面談
20	金	終業式 11:40 下校
21	土	香養会プール&レクリエーション 食堂・プール・体育館
22	日	
23	月	
24	火	高等部 登校日
25	水	高等部 北総地区球技大会
26	木	
27	金	高等部 北総地区球技大会（予備日）
28	土	
29	日	
30	月	PTAプール開放 PM
31	火	PTAプール開放 PM



教頭のひとりごと

教頭 山本 昌宏

FIFA WORLD CUP ロシア2018！ 戦前の予想を覆し、大金星でコロンビア代表を下した我らの西野ジャパン！開始3分での得点を誰が予想できたでしょう。サッカーを少々かじったことのある者として、ちょっと早すぎる得点に逆に不安を感じました。さらに相手は一人退場の10人。これはやりにくいだろうな—とも思いました。当然相手は点を取られないように守備的になるのでなかなか点数は取りにくくなるでしょうし、11対11での状態でどういった戦い方をするかを想定してきたのでしょうか。

そんな予想外の展開の中でもピッチに立っている選手たちは、ボールを回して極力相手にボールを保持させないようにし、さらなるチャンスを狙う。その時の状況に応じ、勝利に向けてどう戦うべきかを意思統一していたようにも感じました。声を掛け合ったでしょうし、アイコンタクトも取ったでしょうし、ベンチからの指示も出たかもしれません。

授業展開時に計画通り進まなかった時、子どもたちとの学校生活を送る中で予想外の展開となった時、学校教育目標達成、あるいは個々の児童生徒の目標達成に向けて、その場しのぎではない意思統一をして職員間ですぐに修正をできているのだろうか…。これが、予想外ではない展開であった場合であってもしっかりと報告・連絡・相談はできているのだろうか…なんてことをテレビ観戦しながらふと思ってしまいました。

最終的な代表選手が選ばれるまで多くの選手が入れ替わっています。でもベースとなる技術や考え方が身についていることです。本校も毎年、教員・事務職員・介助員などの学校職員が30名近く入れ替わっています。子供への接し方や教員としてのあるべき姿はどの学校からいらした方でもある程度身についているでしょう。より具体的実践的な技術や考え方はその都度引き継ぎ、自ら研修しなくてははいけません。人が変わってもパワーを落とさないためには、何よりもサポーターの応援が大きな力の源となります。多少時間がかかるかもしれませんが、職員も保護者・地域の皆様と連携を取ったり、話し合ったりすることでより進むべき方向が明確になり、よりよい学校となるものと信じています。

セネガル戦もポーランド戦も大興奮の戦いでしたね。初のベスト8へ向けて、がんばれニッポン！